

水中の分子・イオンと選択的に相互作用する機能性炭素材料の開発



仁科 勇太
岡山大学
研究教授

本研究では、分子認識可能な機能部位を炭素材料に付与し、水中に含まれる分子またはイオンと選択的に相互作用または除去する材料に展開します。炭素材料は水分野への実応用が広く行われていますが、原子・分子レベルでの構造制御が困難であるという理由から、化学的基礎研究の蓄積が十分とは言い難い状況にあります。私は有

機合成と炭素材料の両方を専門としており、新規な水圏機能材料を創出することにより本研究領域の発展に貢献したいと考えています。

